

2024 年度報告 横浜市青少年育成センター

1 施設の管理運営

2024 年度は、新型コロナの直接的な影響を受けず、市民の生活・行動も概ね日常を取り戻した状況での運営となりました。施設利用を見ると、昨年度を 3 ポイント上回る稼働率となり、コロナ禍からの順調な回復を示すものとなりました。

今年度は、LINE 公式アカウント及び Google フォーム活用による利用申請の導入と本格運用に取り組み、利用者の利便性向上に努めました。また、今年度も青少年育成者・指導者団体へのヒアリングと利用者アンケート実施により、団体の活動状況や課題、施設利用、事業等に関するニーズや意見の把握に努めました。

【開館日数・利用状況】

年度	開館日数	利用団体	利用人数	印刷室利用	相談件数	稼働率
2020	281 日	2,010 件	19,625 人	292 件	71 件	39.8%
2021	339 日	3,072 件	30,561 人	472 件	75 件	45.9%
2022	340 日	3,850 件	42,871 人	618 件	108 件	56.5%
2023	341 日	3,952 件	45,053 人	732 件	130 件	57.8%
2024	341 日	4,166 件	43,987 人	703 件	110 件	60.9%

※2020 年 3 月～5 月は新型コロナウイルスの影響で臨時休館。

2 施設の主な事業

(1) 青少年を支える人材の育成（講座・研修、ネットワーク形成の充実）

青少年への関心や育成者的人材育成を目的とした今年度の研修は、講師の講義特性や内容を勘案して対面、オンライン、ハイブリッドを使い分けて実施しました。

青少年理解の基礎研修では、「子どもの権利」「子どもの虐待被害」「発達障がい」「依存症」「男性の子育て参画」などのテーマで実施したほか、青少年活動の実践者向けの専門研修では、昨年度に注目された「性教育を学ぶ」の他、よこはまチャイルドラインの協力を得て「電話で子ども・若者の声をうけとめる研修」を実施し、声や音のみのコミュニケーションをリアルなロールプレイを交えて学び、参加者から高い評価を得ました。

青少年活動の関係者のネットワーク形成では「子ども・若者に関わる関係者の大交流会」、「青少年支援現場の見学交流会（新規事業）」の実施により、活動する個人や団体、業種や年代を超えた学び合いと関係づくりの場を提供しました。

また、大学生による地域活動の取材・発信による次世代人材育成では、地域で行なわれている青少年育成活動を中心に取材し、SNS で発信を行ないました。

(2) 青少年育成活動等に関する情報の収集・提供（相談・情報提供など）

相談・コーディネートでは、今年度も団体・関係機関から、企画の助言、会場や講師の紹介など事業関連の相談が 110 件寄せられました。SNS を活用した情報発信・提供では、施設事業や活動だけでなく、他団体の取組みも発信することで幅広い情報提供を行ないました。その他、施設の空きスペースを活用し、青少年に関する取組みをパネル展で紹介するなど様々な形で情報を提供しました。

また、多様な青少年育成・相談の場づくりモデル事業の検証では、今年度は若手活動団体と連携し誰もが気軽に立ち寄れる場を設け、事業の必要性や有効性を検証するための情報収集に努めました。

会議室・スタジオ利用状況

月	開館	減免	コマ数	利用団体数(b)					稼働率(b/a)					利用人数				
	日数	件数	(a)	計	青少年	指導者	一般	ユース	全体	青少年	指導者	一般	ユース	計	青少年	指導者	一般	
累計	341	275	6,838	4,166	505	1,593	1,910	158	60.9%	7.4%	23.3%	27.9%	2.3%	43,987	6,802	24,801	12,384	
4	29	6	588	312	49	110	147	6	53.1%	8.3%	18.7%	25.0%	1.0%	3,439	702	1,881	856	
5	29	25	568	330	26	132	162	10	58.1%	4.6%	23.2%	28.5%	1.8%	3,418	416	2,158	844	
6	29	25	588	344	27	135	163	19	58.5%	4.6%	23.0%	27.7%	3.2%	4,027	499	2,181	1,347	
7	29	15	584	366	35	155	167	9	62.7%	6.0%	26.5%	28.6%	1.5%	4,250	811	2,295	1,144	
8	29	11	588	296	50	99	144	3	50.3%	8.5%	16.8%	24.5%	0.5%	2,733	565	1,320	848	
9	28	31	546	369	68	146	140	15	67.6%	12.5%	26.7%	25.6%	2.7%	4,168	536	2,672	960	
10	30	36	610	403	48	160	176	19	66.1%	7.9%	26.2%	28.9%	3.1%	4,017	568	2,134	1,315	
11	29	19	578	369	35	137	187	10	63.8%	6.1%	23.7%	32.4%	1.7%	3,700	538	1,978	1,184	
12	27	35	554	345	51	122	148	24	62.3%	9.2%	22.0%	26.7%	4.3%	2,971	531	1,548	892	
1	27	16	544	347	39	132	160	16	63.8%	7.2%	24.3%	29.4%	2.9%	3,020	344	1,757	919	
2	26	28	512	344	29	128	168	19	67.2%	5.7%	25.0%	32.8%	3.7%	3,472	305	2,000	1,167	
3	29	28	578	341	48	137	148	8	59.0%	8.3%	23.7%	25.6%	1.4%	4,772	987	2,877	908	

内訳

	月	コマ数	利用団体数(b)					稼働率(b/a)					利用人数				
			(a)	計	青少年	指導者	一般	ユース	全体	青少年	指導者	一般	ユース	計	青少年	指導者	一般
研修室1累計		1,231	852	23	622	125	82	69.2%	1.9%	50.5%	10.2%	6.7%	23,679	2,956	16,466	4,257	
4	106	51	1	43	5	2	48.1%	0.9%	40.6%	4.7%	1.9%	1,845	288	1,403	154		
5	102	74	1	56	7	10	72.5%	1.0%	54.9%	6.9%	9.8%	2,094	223	1,625	246		
6	106	85	0	63	10	12	80.2%	0.0%	59.4%	9.4%	11.3%	2,385	361	1,456	568		
7	105	76	2	58	10	6	72.4%	1.9%	55.2%	9.5%	5.7%	1,934	243	1,344	347		
8	106	66	4	48	13	1	62.3%	3.8%	45.3%	12.3%	0.9%	1,590	255	1,029	306		
9	98	84	7	63	7	7	85.7%	7.1%	64.3%	7.1%	7.1%	2,402	205	1,876	321		
10	110	82	5	52	15	10	74.5%	4.5%	47.3%	13.6%	9.1%	2,094	236	1,295	563		
11	104	78	3	51	18	6	75.0%	2.9%	49.0%	17.3%	5.8%	1,942	292	1,261	389		
12	100	61	0	45	10	6	61.0%	0.0%	45.0%	10.0%	6.0%	1,458	160	1,008	290		
1	98	60	0	38	7	15	61.2%	0.0%	38.8%	7.1%	15.3%	1,392	99	968	325		
2	92	66	0	51	12	3	71.7%	0.0%	55.4%	13.0%	3.3%	1,798	83	1,290	425		
3	104	69	0	54	11	4	66.3%	0.0%	51.9%	10.6%	3.8%	2,745	511	1,911	323		
研修室2累計		1,231	725	44	419	235	27	58.9%	3.6%	34.0%	19.1%	2.2%	7,646	872	4,705	2,069	
4	106	52	2	29	19	2	49.1%	1.9%	27.4%	17.9%	1.9%	528	107	249	172		
5	102	53	3	34	16	0	52.0%	2.9%	33.3%	15.7%	0.0%	457	32	320	105		
6	106	59	1	30	24	4	55.7%	0.9%	28.3%	22.6%	3.8%	673	22	424	227		
7	105	64	3	38	22	1	61.0%	2.9%	36.2%	21.0%	1.0%	874	149	512	213		
8	106	47	9	16	22	0	44.3%	8.5%	15.1%	20.8%	0.0%	404	130	141	133		
9	98	71	8	42	18	3	72.4%	8.2%	42.9%	18.4%	3.1%	798	87	527	184		
10	110	82	8	47	23	4	74.5%	7.3%	42.7%	20.9%	3.6%	802	98	484	220		
11	104	60	2	35	19	4	57.7%	1.9%	33.7%	18.3%	3.8%	627	44	393	190		
12	100	59	7	36	13	3	59.0%	7.0%	36.0%	13.0%	3.0%	521	66	301	154		
1	98	60	0	42	17	1	61.2%	0.0%	42.9%	17.3%	1.0%	563	20	406	137		
2	92	62	1	35	24	2	67.4%	1.1%	38.0%	26.1%	2.2%	635	28	430	177		
3	104	56	0	35	18	3	53.8%	0.0%	33.7%	17.3%	2.9%	764	89	518	157		
ミーティングルーム累計		1,231	681	32	294	329	26	55.3%	2.6%	23.9%	26.7%	2.1%	3,932	516	1,829	1,587	
4	106	52	2	22	27	1	49.1%	1.9%	20.8%	25.5%	0.9%	295	32	134	129		
5	102	53	5	20	28	0	52.0%	4.9%	19.6%	27.5%	0.0%	266	29	99	138		
6	106	58	4	23	30	1	54.7%	3.8%	21.7%	28.3%	0.9%	352	23	154	175		
7	105	57	1	30	26	0	54.3%	1.0%	28.6%	24.8%	0.0%	472	107	244	121		
8	106	47	4	22	21	0	44.3%	3.8%	20.8%	19.8%	0.0%	269	62	106	101		
9	98	58	2	25	28	3	59.2%	2.0%	25.5%								

《目標設定時公表項目》 2024 年度 横浜市青少年育成センター

目標設定の視点	運営目標	管理指標・数値
利用者サービス	地域の青少年活動を支援するため、施設の貸出や青少年育成に関する相談や情報提供などに対応します。	① 施設稼働率 65% (前年度稼働率：約 59%) ②相談・情報提供業務 年間 100 件 (前年度年間目標：100 件)
業務運営	①青少年に向き合う地域人材を育成します。 ②青少年育成者・団体ネットワークの推進を強化します。	①青少年育成に関する講座・研修等への参加者数 延べ 500 人以上。(前年度年実績：約 450 人) ②青少年育成に取り組む他団体と連携して、青少年育成者や、団体のネットワークを推進します。 連携事業：年 7 事業以上
職員育成	①青少年活動を多角的に支援できる職員の養成 ②安心して活動できる施設運営	①職員の外部研修への参加 年 6 回以上。 育成センタースタッフの内部研修の実施 年 1 回以上 ②避難誘導訓練 年 2 回、AED 講習会 年 1 回
財務	利用料収入および事業収入の増収を図り、自主財源を高めます。	①利用料収入 220 万円 (前年度年間目標：195 万円) ②事業収入 110 万円 (前年度年間目標：85 万円)

《実績評価時公表項目》

目標設定の視点	運営目標	管理指標・数値	実績値	目標との差異	今後の取組(改善計画)
利用者サービス	利用手続きの簡便化やオンライン活動の支援など利便性の向上を図り、利用促進に取組みます。	①施設稼働率：65% ②相談・情報提供業務 年間：100 件	① 60.9% ② 114 件	① 4.9% ② +14	①Line や Google フォームによる利便性向上の取組みを引き続き浸透させると共に、新しい利用層獲得のため企業等への周知に努めます。 ②青少年育成や支援に関する相談に対応できるよう、情報収集と職員育成に努めます。
業務運営	①広報の工夫やオンラインの活用によって参加者増加を図ります。 ②青少年育成者・団体ネットワークの推進を強化します。	①講座・研修等の参加者数延べ 500 人以上。 ②他団体との連携事業：7 事業以上	① 377 人 ② 12 件	① 123 人 ② +5 件	①内容や受講しやすい方法、広報の工夫に取組み、参加者向上に努めます。 ②新たな団体や若手活動者との連携を意識して取組みます。
職員育成	①青少年活動を多角的に支援できる職員の養成 ②安心して活動できる施設運営	①外部研修への参加 年 6 回以上 ②避難誘導訓練年 2 回 AED 講習会年 1 回	① 37 回 ② ・なし ・+ 1	① +31 ② ・なし ・+ 1	①青少年課題の理解を深め、相談やコーディネートに力を発揮できる職員養成に努めます。 ②避難訓練等を定期的に実施し、施設の安全性を確保できるよう努めます。
財務	ニーズへの柔軟な対応、事業参加率向上により利用料収入および事業収入の増収を図ります。	①利用料収入 220 万円 ②事業収入 110 万円	①173 万円 ②77 万円	①47 万円 ②33 万円	①利便性向上や施設利用に関する広報等により、利用頻度、利用層拡大に努めます。 ②事業内容の工夫、貸出物品・サービス充実に努め、収入の増につなげます。

A 青少年活動を支援する事業 あ 施設貸与

事業名	実施日	件 数	利用人数	備考
1 利用者案内、利用相談、受付 ●会議室、スタジオ等の貸出 ・貸し出し、利用相談 ・育成団体登録時の相談実施	4～3月	4,166 件	43,987 人	<ul style="list-style-type: none"> ・件数内訳) <ul style="list-style-type: none"> 青少年 505 件 育成団体 1,593 件 一般 1,910 件 法人利用 158 件 ・登録件数内訳) <ul style="list-style-type: none"> 357 件 青少年 58 件 育成団体 86 件 一般 213 件
●HPによる情報提供	随時			<ul style="list-style-type: none"> ・抽選予約状況（3か月前、毎月） ・スタジオ空室状況（2か月分・週1回更新および随時）
2 施設での活動支援、安全・衛生環境管理 ●非常用物品の確認・点検 ・各室非常灯の点検、救急箱の点検 ・部屋貸し出し時の避難経路案内	毎月 随時	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ・地震および火災時の対応 非常灯表示 ・HPによる案内（帰宅困難者一時滞在施設） ・備蓄品購入と保管（水、軽食、毛布）
●避難訓練の実施	①8/30 ②3/12	年2回	—	・避難誘導訓練の実施
●スタッフ救急研修	①8/30 ②3/12	年2回	—	・AED 講習
3 利用者サービス向上のための取り組み ●活動支援室（プリントルーム）事業	4～3月	703 件	—	印刷機／コピー／ラミネート 製本作業等の活動支援事業
●館外貸出物品事業（着ぐるみ）	5～3月	7 件	—	・少年団体、子ども会、学童等
●利用サービスの向上 交流スペース、ワークルームの運営 利用者用ロッカーの貸出	通年	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ・個別学習コーナー ・子ども食堂寄付物品の中継支援（菓子、消毒薬 他）など
●利用者アンケートの実施	2～3月	102 件	—	・利用状況や利用者サービス、職員対応などを調査
4 その他 Line 公式アカウントの運用、Google フォームの導入による利便性向上の取組み	4月	—	—	Line 公式アカウントによる利用予約や問合せ受付の運用、Google フォームを利用した利用申請等の導入

A 青少年活動を支援する事業 え 相談・助言

事業名	実施日	件数	備考
青少年育成に関する相談・情報の収集と提供 ●相談・コーディネート	4～3月	114 件	<ul style="list-style-type: none"> ・窓口、電話、Eメールでの相談対応 ・青少年及び地域活動の企画・実施への助言 ・学習、進路、家庭問題など

●情報の提供 ユースライブラリーの運営 HPやSNS等による情報提供 館内空きスペースを活用したパネル展	随时	—	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年に関する書籍の収集・配架・貸出 ・青少年指導者向けの研修・講座情報の提供 ・青少年統計データ、ボランティア情報提供 ・青少年に関する書籍の貸出とデータベース化 ・Facebook, twitter, note 等のSNSでの情報発信 noteでは年6回、青少年支援活動、地域活動の情報を投稿 ・パネル展の実施：青少年育成団体の紹介や青少年を取り巻く課題などを展示4回
●相談・助言の対応の向上 (スタッフスキルアップ研修等)	①毎月 ②随时	—	<ul style="list-style-type: none"> ①月例会議でのケースカンファレンス（毎月） ②外部研修への職員の参加（37件） <ul style="list-style-type: none"> ・青少年課題に関する研修会 ・若者相談に関する研修 ・ユースワークに関する研修ほか

A 青少年活動を支援する事業 お 調査、資料収集

●調査・資料収集 ①地域の青少年活動のリサーチ ③外部人材との意見交換会	①通年 ②11月 ～3月	①10件 ②5回	<ul style="list-style-type: none"> ①青少年に関する新しい取り組みの取材・発信 ②施設の活用方法やPR、運営課題についての意見交換会の実施 ・事業協力関係にある青少年育成者・指導者（5団体）
--	--------------------	-------------	---

B 青少年を支える人材を育成する事業 い 講座・セミナー・育成

日常の関わりの中で包括的に青少年を支え、青少年や地域が抱える課題に対して、青少年自身または地域の活動者・実践者に寄り添い、共に考え伴走していくような人材の広がりを目指し、事業を企画・実施しています。

講座・研修は、青少年理解の基礎的な内容から、活動者・実践者が学びを積み上げていく連続講座、活動現場の実践で活かせるスキルアップ講座、青少年に関わる方が出会い学び合う交流会やフォーラムなど、参加者それぞれの立場やレベルに合わせた研修体系となっています。

事 業 名	実施日	参加人数	備 考
<青少年理解の基礎講座> 全10回			
① 「子どもの権利について」 講師：子どもの未来サポートオフィス 米田 佐知子 氏	①5/1 T	①9人	
② 「ユースワークの基礎」 講師：ユースワーカー協議会 -水野 篤夫 氏	②5/22 O	②12人	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年を取り巻く現状や課題について学び、青少年に寄り添う人材を増やすことを目的に「青少年理解の基礎講座（全10回）」を5月～7月にかけて実施。講師及び内容によって、対面、オンライン、ハイブリッドを使い分けました。
③ 「男性の子育て参画」 講師：全日本育児普及協会 真鍋 考士 氏	③5/25 T	③4人	<ul style="list-style-type: none"> ・定員30人（④だけ40人）、参加費：各回800円（35歳以下500円）
④ 「発達障がいの理解」 講師：公認心理士 横山 小夜子 氏	④6/1 H	④46人	
⑤ 「性の多様性を前提とした子どもとの関り」 講師：一般社団法人にじーず 遠藤 まめた 氏	⑤6/7 H	⑤13人	

事業名	実施日	参加人数	備考
<青少年理解の基礎講座>			
⑥ 「親子まるっと伴走実践」 講師：一般社団法人 Oomoshiro 武田 茉里 氏	⑥6/14 T	⑥20 人	
⑦ 「ひとり親家庭支援の現場から」 講師：横浜市母子家庭等就労・自立支援センター 齋藤 みゆき 氏	⑦6/20 T	⑦21 人	・青少年を取り巻く現状や課題について学び、青少年に寄り添う人材を増やすことを目的に「青少年理解の基礎講座（全10回）」を5月～7月にかけて実施。講師及び内容によって、対面、オンライン、ハイブリッドを使い分けました。
⑧ 「意外と身近な依存症のメカニズム」 講師：神奈川県立精神医療センター 西村 康平 氏	⑧7/4 T	⑧26 人	
⑨ 「子どもの虐待被害と回復」 講師：NPO 法人子ども支援センターつなぐ 飛田 桂 氏	⑨7/11 O	⑨30 人	・定員 30 人（④だけ 40 人）、参加費：各回 800 円（35 歳以下 500 円）
⑩ 「学校以外の学びの場」 講師：一般社団法人かけはし 廣瀬 貴樹 氏	⑩7/31 T	⑩24 人	
		計 205 人	
<専門研修（連続講座）>			
①「性教育を学ぶ」 ・定員 20 人 ・参加費：1,500 円（各回）	① ・1/27 ・1/31 T	① ・6 人 ・7 人	・青少年に関わる活動や業務に関わる実務経験者のレベルアップを目的に、青少年に関わるための専門研修を 2 講座で実施した。
第1回 講師：（一社）“人間と性”教育研究協議会 中野 久恵 氏			・「性教育を学ぶ」は青少年に関わる大人が青少年と性について話ができる目標に実施。
第2回 講師：助産師・思春期保健相談士 千田 陽子 氏	② ・9/4 T	② ・8 人	・受講者のフォローアップと効果測定を兼ねて実施。受講したことでの効果、状況の変化、課題など参加者同士で共有を行なった。参加無料。
②「性教育を学ぶ」ふりかえり研修 ※過去受講者対象 ・定員・参加費なし	③ ・2/15 ・2/18 O	③ ・5 人	・子ども若者の声をうけとめる研修は、電話というツールを利用しながら、声と音の情報に耳を傾けることを学ぶことを目的に実施。チャイルドラインが日頃から留意している対応や聞き方をロールプレイやグループワークを交え、実践的に行ないました。
③「電話で子ども若者の声をうけとめる研修」 講師：よこはまチャイルドライン 小出 太美夫 氏 協力：シアターあさぎり ・定員 20 人 ・参加費：2,000 円		計 26 人	
<ユースワーカー養成講座>			
・定員 20 人 ・参加費：8,000 円（2 日間） <内容> ・ワーカーとしての自己理解、コミュニケーションとグループプロセス、実勢の省察ほか。	・ 10/12 ～10/13	・ 10 人 計 10 人	・ユースワーカー協議会と連携し、地域の青少年活動のコーディネートや青少年支援など、包括的な関り方ができる人材を育成することを目的に実施。 ・ユースワーカーとはと言うところから、グループワーク、個人ワーク、体験を通した内容で、参加者からは専門性のある協議会の講師ならではの講座だったなどの評価をいただいた。

<p>＜次世代人材の育成研修＞</p> <p>①次世代人材育成ボランティア (知る、伝える。ボランティア) ・定員 10 人</p> <p>＜内容＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取材 7 回 (若者の居場所、支援施設 他) ・記事発信 6 回 (note 利用) ・活動報告会での発表 (1 月) ・その他、オンライン面談 (20 回)、定期 MTG (12 回) を実施 <p>②社会教育実習生の受入れ ・立教大学 社会教育主事課程実習生</p>	<p>①通年</p> <p>③7-9 月</p>	<p>①9 人</p> <p>③1 人 計 10 人</p>	<p>・青少年に関わる次世代人材の育成を目的に、主に大学生世代の若者が、地域活動の取材や情報発信を通して、社会に関わる活動に参加する機会を提供した。また、1 月には法人の事業課と連携した若者の声を発信する活動報告会で、自ら経験した事や感じたことを発表する場を設けたことで、次世代人材である若者の成長にもつなげることができた。</p> <p>・実習生の受入れは、立教大学から 1 名を受入。実習では、施設管理や事業のほか、居場所施設の見学なども行ない、青少年施設業務を学ぶ機会を提供した。</p>
--	--------------------------	------------------------------------	---

事業名	実施日	参加人数	備考
<青少年活動を支援するためのスキルアップ講座>			
①「まだ間に合う！応急手当講習会」 講師：中消防署 ・定員 10 人 ・参加費：1,800 円 ・内容：救急救命の基礎、AED 操作ほか	①7/30	①9 人	・青少年育成に関わる人や団体の活動の充実を図ることを目的に、「青少年活動や青少年育成団体の運営に役立つ知識・スキルを学ぶ講座を実施した。
②「アサーティブコミュニケーションから学ぶ、子どもも自分も大切にする方法講座」 講師：共育コーチング研究会 川本 正秀 氏 ・定員 20 人 ・参加費：1,000 円 ・内容：お互いを尊重した円滑なコミュニケーションを図るアサーティブコミュニケーション手法を学ぶ。	②10/13	②9 人	・応急手当講座は、夏休み本番を迎える時期を捉え、地域や団体で行なう子ども・青少年の活動が安全に行なえるよう指導者・育成者を対象に実施。
③「傾聴とダイアローグ研修」 講師：特定非営利活動法人アーモンド コミュニティ ネットワーク 水谷 裕子 氏 ・定員 110 人 ・参加費：1,500 円 ・内容：傾聴による関係性構築、対話、オープン・ダイアローグ 実践	③12/14	③11 人 計 29 人	・アサーティブコミュニケーション講座は、子ども・青少年と接していく、つい気持ちを飲み込んでしまう、批判や怒りの感情が先立ってうまく伝えられない、お互いを尊重した円滑なコミュニケーションが取りたいなどの課題解決に向けて実施。
・傾聴とダイアローグ研修は、子ども・青少年の心を聴く「傾聴」による関わりつくりから、その先の「対話」「オープン・ダイアローグ」の実践について学ぶ講座として実施。			
<団体運営の支援や課題解決のための講座>			
①「ファシリテーションがつかめるワークショップ」 講師：ビジョナリーキャリアカーディー 大久保 智弘 氏 ・定員 20 人 ・参加費：1,000 円 ・内容：青少年とプロジェクトを円滑に進めるファシリテーションを学ぶワークほか。	①1/18	①7 人	・ファシリテーション講座は、質問力・聞く力を上げたい、話を整理するのが苦手、ミーティング・グループワークを円滑に進めたいなど、青少年と一緒にプロジェクトを進める活動などをしている人向けに実施。
②「トラウマを抱えた子どもたちへの対応を学ぶ講座」 講師：NPO 法人レジリエンス 野田 融 氏 ・定員 20 人 ・参加費：1,000 円 ・内容：トラウマなど課題を抱え傷ついている子どもとのコミュニケーションについて	②2/24	②12 人	・トラウマをはじめ、さまざまな課題を抱え傷ついている子ども・青少年とのコミュニケーションについて学ぶ講座として実施。
③「子どもの人権を意識したコミュニケーションを学ぶ」 講師：認定 NPO 法人エンパワメントかながわ 浜谷 典子 氏、羽根坂恵美子 氏 ・定員 20 人 ・参加費：1,000 円 ・内容：子どもが暴力などに「嫌」を伝えたり、自分の感情を言語化するトレーニング手法。	③3/25	③3 人 計 22 人	・「誰にでも人権がある」「暴力を受けていい人は誰もいない」をテーマに、子どもが「嫌」を伝えたり、子どもや子どもを見守る大人自身が、自分の感情を言語化したり適切な温度で相手に伝えるためのトレーニングの手法等を学ぶ講座として実施。

行政機関や青少年支援団体等と連携した人材育成	通年 12 团体	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年育成団体等との協働し、幅広いテーマの人材育成に関する事業を共催等で実施した。 ①特定非営利活動法人よこはまチャイルドライン「子ども支援者連続講座」 ②（一財）横浜市母子寡婦福祉会「ひとり親サロン」など ③日本作法会 横浜関内教室「心を育てる講座」「こども作法」 ④NPO法人子ども支援センターつなぐ「ボランティア養成講座」 ⑤おもしろ科学たんけん工房「理科推進スタッフ体験講座」 ⑥横浜市教育委員会事務局 人権教育-児童生徒課「子どもの社会的スキル横浜プログラム指導者養成研修」など ⑦YPCネットワーク「支援者育成研修」など ⑧一般社団法人ラシク 0 4 5「CAPスペシャリスト養成講座in横浜 サポーター事業」 ⑨中区民生委員児童委員協議会「親子の広場」 ⑩神奈川県小中学校将棋連盟「文部科学大臣杯第20回小中学校将棋団体戦神奈川県大会」 ⑪よこはま 子ども・若者が孤立しない地域づくり研修会「よこはま 子ども・若者インクルージョンセミナー2024」 ⑫キッズディレクター「映像ワークショップ」 	
事 業 名	実施日	参 加 人 数	備 考
<p><青少年育成関係者の交流勉強会> 「青少年支援現場の交流見学会」 ・定員 10 人</p> <p>会場：きっちんぴいす（戸塚区） 参加費：1,800 円</p>	11/20 計 10 人	10 人 計 10 人	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども青少年に関わる人や団体が集まり、様々な実践を知り、学び合うことで、支援者同士のつながりを広げることを目的に実施。 ・見学会では、戸塚区でコミュニティカフェをオープンし地元の高校生の受入れなども行なって居場所づくりを行なっているお店の活動について、ランチミーティング形式でオーナーから開店の経緯や現在に至る活動のお話を伺うと共に、意見交換を行なった。 ・見学会後には、参加者による連絡グループが自発的に作られており、ネットワーク形成にも寄与することができた。
<p><青少年団体等のネットワーク形成事業> 「横浜子ども・青少年に関わる活動関係者の大交流会」 ・定員 70 人 参加費：500 円</p> <p>※横浜子ども・青少年に関わる活動関係者の大交流会を開く会との共催</p>	7/14 計 56 人	30 団体 56 人 計 56 人	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年に関わる活動団体や関心のある人が集まり、活動発表と交流することを目的に共催事業として実施した。育成センターは事務局として世話人会開催サポート、広報、当日運営サポートを行った。 ・今年度も市内外から多くの団体・個人の参加があり、交流会では、今後の活動のヒントにつながるような交流の機会となり、子ども・青少年に関わる人たちの貴重なネットワークの場を提供することができた。

2024年度 横浜市青少年育成センター施設管理業務報告 【4月～3月】

○建築物の保守管理

項目	機器及び設備名称	実施内容	回数	実績	分担
内部仕上げ	壁面・天井・床・等	目視点検	1日1回以上		育成C

○空調・電気・消防設備等保守点検

項目	機器及び設備名称	実施内容	回数	実績	分担
空調設備	外観の状態	目視点検	1日1回以上		関内H
	自動運転盤の異常の有無	目視点検	1日1回以上		関内H
	電流値の適正	目視点検	1日1回以上		関内H
	モーターの異常の有無	目視点検	1日1回以上		関内H
	回転音異常の有無	目視点検	1日1回以上		関内H
	ファンベルトの異常の有無	目視点検	1日1回以上		関内H
	ドレンパンの異常の有無	目視点検	月1回	4/8,5/13,6/10,7/8, 8/14,9/10,10/15, 11/11,12/9,1/14, 2/4,3/10,	関内H
	フィルターの汚れ	点検・清掃	月1回	4/8,5/13,6/10,7/8, 8/14,9/10,10/15, 11/11,12/9,1/14, 2/4,3/10,	関内H
電気設備	受電設備	年次点検	年1回(9月)	9/9,	関内H
	配電設備	年次点検	年1回(9月)	9/9,	関内H
	蓄電池設備	機器・総合点検	年1回(10月、3月)	9/10,3/24,	関内H
消防設備		機器・総合点検	年2回(9月、3月)	8/14,9/10,3/10	関内H
中央監視装置		本体・制御点検	年2回(8月、2月)	8/14,2/4,	関内H
エレベーター設備		月例点検	月1回	4/8,5/13,6/10,7/8, 8/14,9/10,10/15, 11/11,12/9,2/4, 3/10,	関内H
防火シャッター設備	防火シャッター設備	定期点検	年1回	3/10,	関内H
自動ドア設備		定期点検	年4回(6,9,12,3月)	6/10,9/10,12/9, 2/4,3/10	関内H

○環境衛生業務

項目	機器及び設備名称	実施内容	回数	実績	分担
環境衛生管理	空気環境測定		年6回(奇数月)	5/24,7/17,9/12, 11/21,1/22,3/19,	関内H
	水質検査		年2回(7月、2月)	7/18,2/7,	関内H
	害虫駆除	薬剤散布等	年2回(8月、2月)	8/13,2/13,	関内H
	受水槽清掃	物理的清掃	年1回(6月)	6/10,	関内H
	残留塩素測定	試薬による点検	1日1回		関内H
	高置水槽清掃	物理的清掃	年1回(6月)	6/10,	関内H
	雑排水槽清掃	物理的清掃	年2回(8月、2月)	8/14,2/4,	関内H
	排水管清掃			特になし	関内H

○備品等の保守管理

項目	協定の内容	実績	分担
事務備品の管理	施設の運用に支障をきたさないよう適正に管理する	日常点検とともに実施	育成C
消耗品の管理	施設の運用に支障をきたさないよう適正に管理する	日常点検とともに実施	育成C

○清掃業務

項目	機器及び設備名称	実施内容	回数	実績	分担
日常清掃		日常清掃	1日1回以上		関内H
定期清掃	床清掃(洗浄・ワックス塗布)	ワックス塗布	年5回	4/8,5/27,6/10,7/22, 8/14,9/9,10/15,11/11, 12/9/14,3/24	関内H
	照明器具清掃	照明器具、排気口清掃	年1回	2/4,	関内H
	ガラス清掃	ガラス清掃	年6回(奇数月)	5/13,7/8,9/10, 11/11,1/14,3/10,	関内H

○保守管理業務

項目	機器及び設備名称	実施内容	回数	実績	分担
常駐警備		巡回警備	1日4回以上		関内H
機械警備		セコム	毎日(夜間)	警戒警備	関内H

横浜市青少年育成センター 2024年度施設利用者アンケート 集計結果

**2025年2月1日～3月31日
(回答数件 102件)**

調査方法: 議室等を利用の際にアンケート用紙を配布し、記入後回収

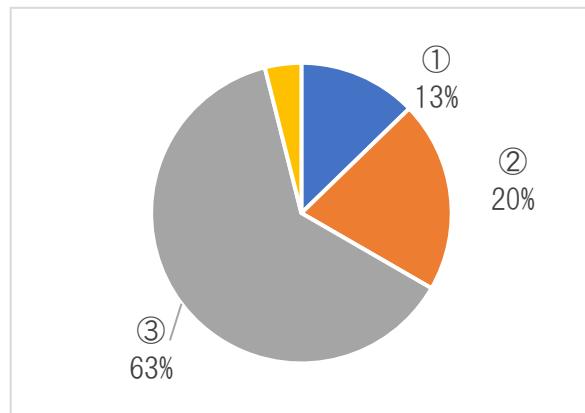
横浜市青少年育成センター

横浜市青少年育成センター 2024年度施設利用者アンケート集計結果

1. 利用状況について

(1) 利用区分を教えてください。

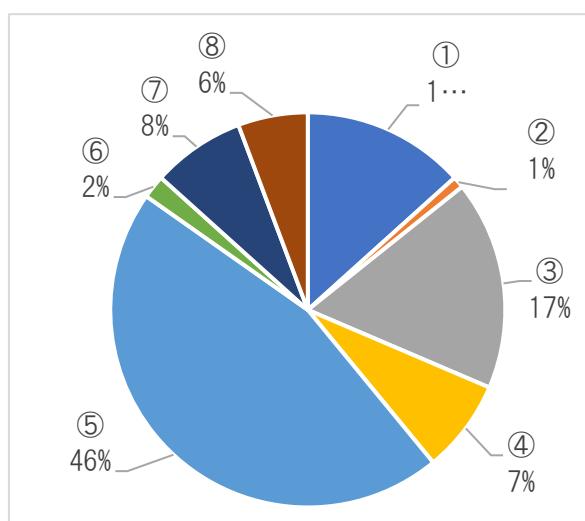
① 青少年団体	13	13%
② 育成者・指導者団体	21	21%
③ 一般団体	64	63%
④ 未記入	4	4%
総数	102	



(2) どのような団体ですか？(複数回答可)

① 非営利法人(NPO法人等)	14	13%
② 公的な団体(自治会・町内会等)	1	1%
③ 任意団体(青少年育成)	18	17%
④ 任意団体(市民活動)	8	8%
⑤ サークル・同好会・個人	48	46%
⑥ 一般企業	2	2%
⑦ その他	8	8%
⑧ 未記入	6	6%
総数	105	

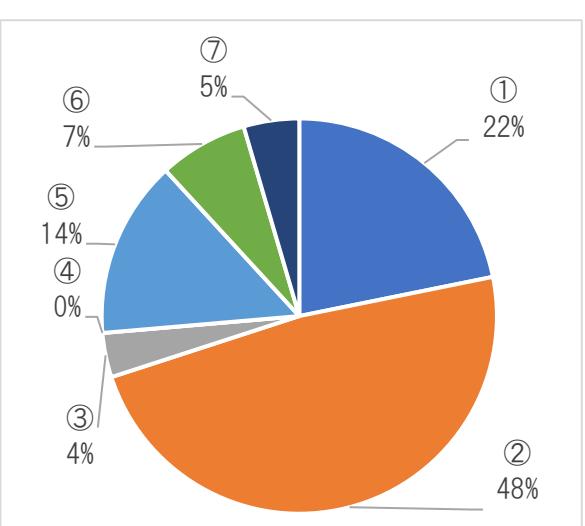
異業種交流会／ガールスカウト／カウンセリング学習会／学生団体／学童軟式野球／企業OB会／工業団体／退職の会／任意団体(退職校長会)／バンド／美術団体／マンション管理組合



(3) どのような規模で活動していますか？

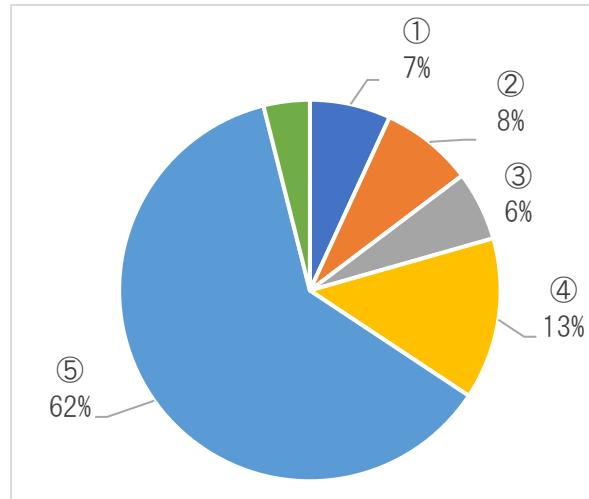
① 神奈川県域	24	22%
② 横浜市域	53	48%
③ 区域	4	4%
④ 限定した地域	0	0%
⑤ 知り合い・友人のみ	16	15%
⑥ その他	8	7%
⑦ 未記入	5	5%
総数	110	

会員他／組合員のみ／全国／どこの方々でも海外の方もOK／都内／部活／本部全国大会の神奈川支部／東京



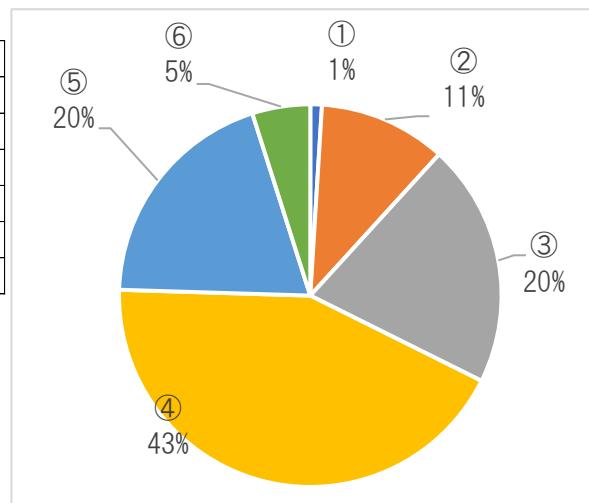
(4) 当施設をどのぐらいの期間、利用していますか？

① 1年未満	7	7%
② 1年以上2年未満	8	8%
③ 2年以上3年未満	6	6%
④ 3年以上5年未満	14	14%
⑤ 5年以上	63	62%
⑥ 未記入	4	4%
総数	102	



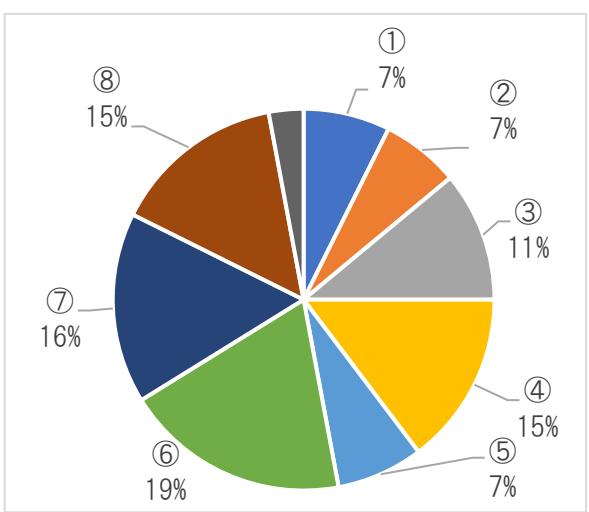
(5) 当施設をどのぐらいの頻度で利用していますか？

① 2回以上/週	1	1%
② 1回/週	11	11%
③ 2~3回/月	21	21%
④ 1回/月	44	43%
⑤ 数回/年	20	20%
⑥ 未記入	5	5%
総数	102	



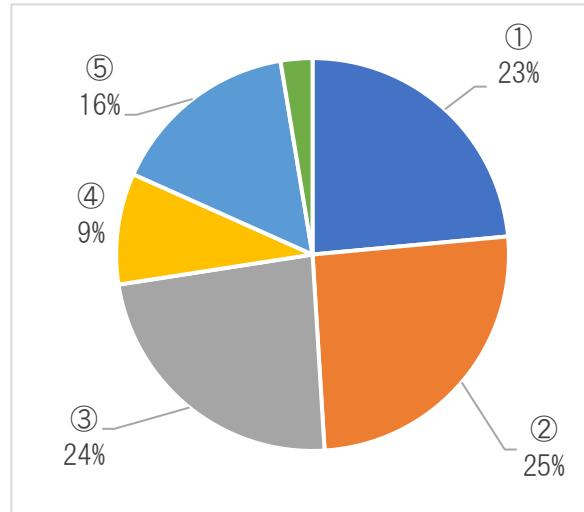
(6) 主に利用される曜日はいつですか？(複数回答可)

① 月曜日	10	7%
② 火曜日	9	7%
③ 水曜日	15	11%
④ 木曜日	20	15%
⑤ 金曜日	10	7%
⑥ 土曜日	26	19%
⑦ 日曜日	22	16%
⑧ 不定期	20	15%
⑨ 未記入	4	3%
総数	136	



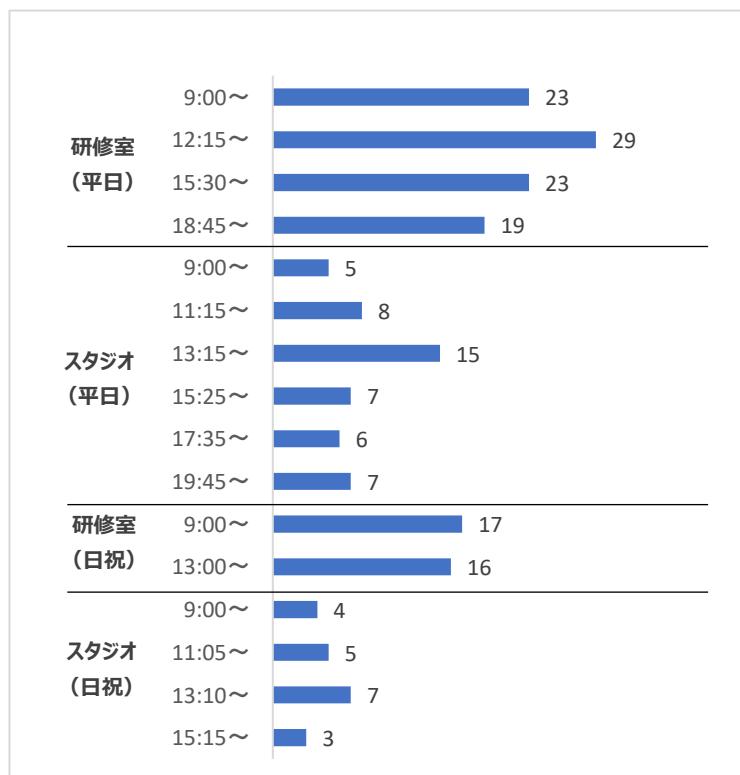
(7) 主に利用される部屋はどこですか？(複数回答可)

①	第1研修室	36	24%
②	第2研修室	39	25%
③	ミーティングルーム	36	24%
④	和室	14	9%
⑤	スタジオ	24	16%
⑥	未記入	4	3%
	総数	153	



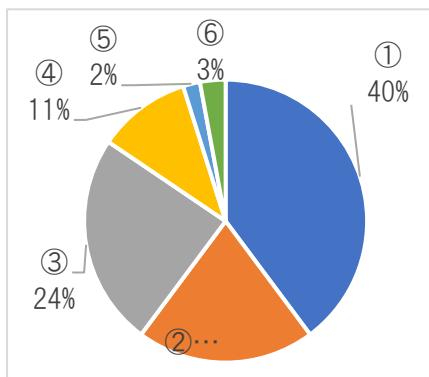
(8) 主に利用される時間帯はいつですか？(複数回答可)

研修室(平日)			
①	9:00～	23	12%
②	12:15～	29	15%
③	15:30～	23	12%
④	18:45～	19	10%
スタジオ(平日)			
⑤	9:00～	5	3%
⑥	11:15～	8	4%
⑦	13:15～	15	8%
⑧	15:25～	7	4%
⑨	17:35～	6	3%
⑩	19:45～	7	4%
研修室(日祝)			
⑪	9:00～	17	9%
⑫	13:00～	16	8%
スタジオ(日祝)			
⑬	9:00～	4	2%
⑭	11:05～	5	3%
⑮	13:10～	7	4%
⑯	15:15～	3	2%
	未記入	5	3%
	総数	199	



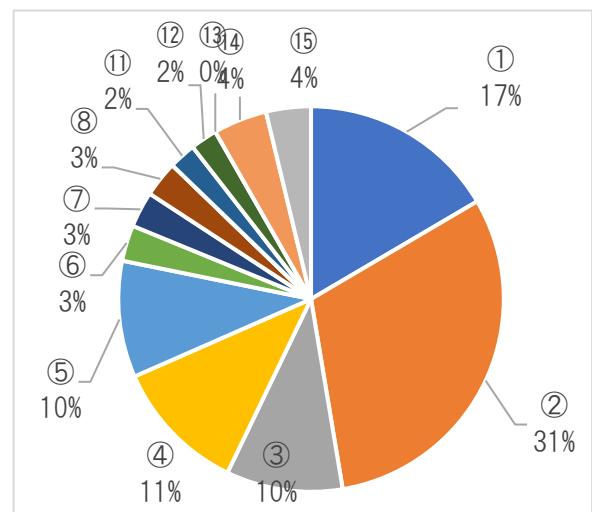
(9) 通常、何人ぐらいで利用されていますか？

①	1～5人	41	40%
②	6～10人	21	20%
③	11～30人	25	24%
④	31～50人	11	11%
⑤	51人以上	2	2%
⑥	未記入	3	3%
	総数	103	



(10) どのような目的で利用されていますか？(複数回答可)

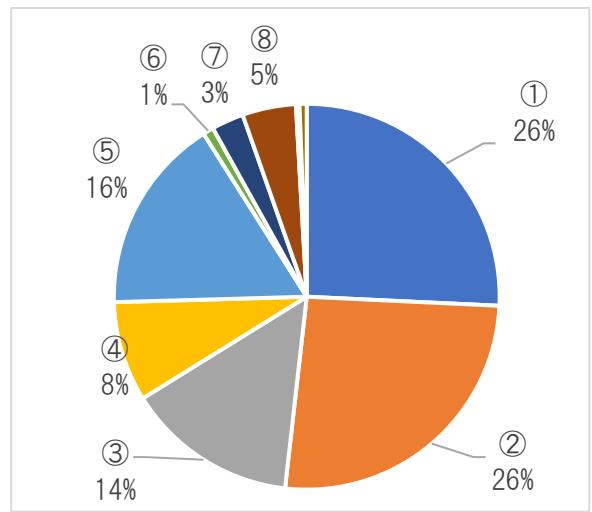
①	研修	22	17%
②	会議	41	31%
③	勉強	13	10%
④	バンド練習	15	11%
⑤	楽器演奏(バンド以外)	13	10%
⑥	コーラス	4	3%
⑦	子育て関連	4	3%
⑧	舞踊・ダンス	4	3%
⑨	スポーツ・武道	0	0%
⑩	美術・工芸	0	0%
⑪	講演会	3	2%
⑫	演劇	3	2%
⑬	茶華書道・着付け	0	0%
⑭	その他	6	5%
⑮	未記入	5	4%
	総数	133	



異業種交流、勉強会／学習会・定例会／着物の小物作り／座禅／詩吟／事務作業／将棋大会／食品提供会／大会／バンド／フリースペース／野球大会抽選会

(11) 育成センターを利用している理由は何ですか？(複数回答可)

①	料金が適当	86	26%
②	立地環境が良い	87	26%
③	受付の対応が親切	48	14%
④	利用手続きが簡単だから	28	8%
⑤	施設が使いやすい	55	16%
⑥	他の施設がとれなかった	3	1%
⑦	オンライン環境が充実している	9	3%
⑧	フリーWiFiがある	15	4%
⑨	その他	1	0%
⑩	未記入	2	1%
	総数	334	



2. 育成センターの機能について

(1) 育成センターの設置機材や貸出機材は使いやすかったですか？

① とても使いやすい	32	31%
② 使いやすい	47	46%
③ あまり使いやさくない	2	2%
④ 使いにくい	0	0%
⑤ 使ったことがない	14	14%
⑥ 未記入	7	7%
総数	102	

(2) 上記質問の回答理由をご記入下さい。(任意記入)

【①とても使いやすい】

料金が安い／プロジェクトが良い／パソコンの貸出は大変ありがとうございます／他教室の音が聞えない／慣れている／おそらくまでやってる／スタジオ限定の使用ですが、登録の初めから利用の仕方まで丁寧ですので助かります

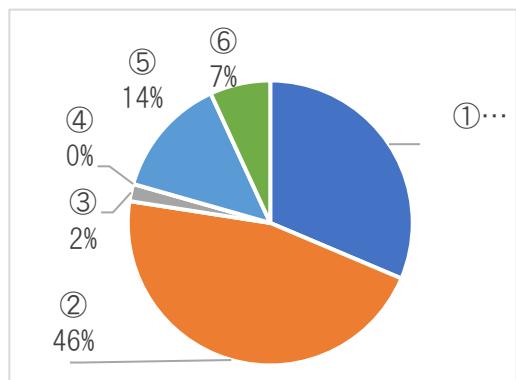
【②使いやすい】

シンプルなネジがゆるみやすくて落ちてしまう／マイク(有線)の静電気がすごく歌うときに痛い／シンプルな機材なので調整しやすい／広さ・防音／スタッフの方がサポートしていただける／希望する機材がおかりできること／機器がそろっている／マイク・アンプを利用させていただいている／マイク以外はほとんど使用しないが、手軽に使えて良い／いろいろと便宜を図って貸し出してくれる・すでにセットされているものもあり、比較的使い／印刷機が便利／プロジェクターのケーブルがつながらないものがある／マイク3本目が古くて使用に問題がある／CDプレーヤーも使いやすくなりました

【③あまり使いやさくない】 和室のいすが重くて大変／マイクが故障していた

【⑤使ったことがない】 必要なかったため／譜面台以外の機材をまだ使用したことがないため

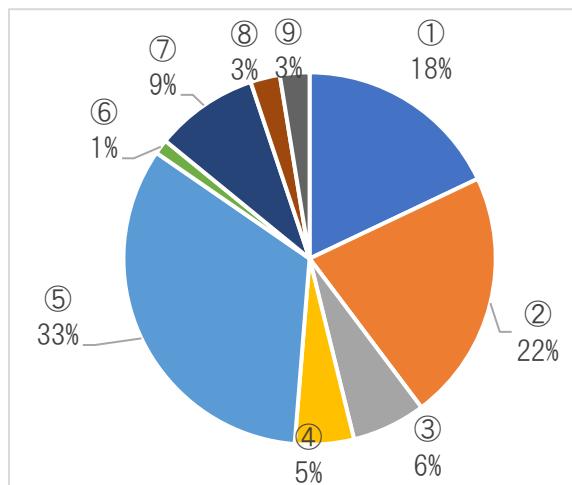
【⑥未記入】 使ってない



(3) 部屋以外に利用・活用したことがあることを教えてください。(複数回答可)

① 研修・講座	14	18%
② 交流スペース	17	22%
③ 個別学習・パソコンスペース	5	6%
④ ユースライブラリー(図書の閲覧・貸出)	4	5%
⑤ コピー機・印刷機	26	33%
⑥ 職員への相談(活動や青少年について)	1	1%
⑦ 配架チラシ・掲示物での情報収集	7	9%
⑧ 育成センターでのチラシ等配架依頼	2	3%
⑨ その他	2	3%
総数	78	

講座参加／ロッカー／トイレ



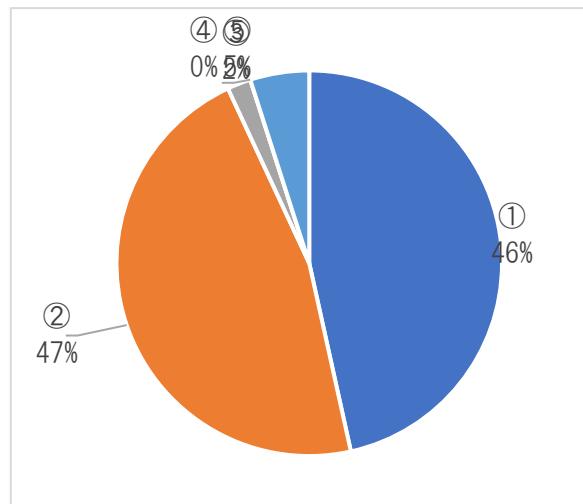
(4) どんな機能があると良いと思いますか。(任意記入)

ミニホール(40人程度)／平らないすが使いたい／オンラインでの施設予約／①②／できれば軽食でも摂れるようになると良いと思います／エフェクター／AIのコピー機／コートハンガーがあると良いと思います／スタジオでCDを使って音楽が聴ければ有難いです・図書架に音楽関係の物も欲しいですね

3. 育成センターの設備、環境について

(1)施設の設備、環境はいかがでしたか？(複数回答可)

①とても良い	47	47%
②良い	47	47%
③あまり良くなかった	2	2%
④良くなかった	0	0%
⑤未記入	5	5%
総数	101	

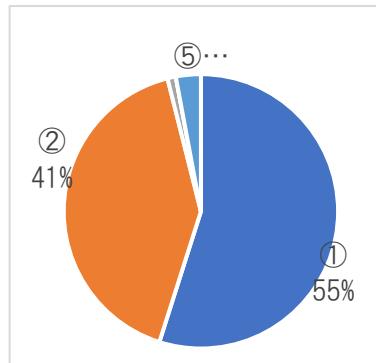


(2)上記質問の回答理由をご記入下さい。(任意記入)

和室を除いては充分な設備／ZOOMが使えるのが、本当に助かる／人による／部屋がいつもきれいで使いやすいです／場所が各交通機関に近い／ある程度の物がそろっている／立地が良い／使い勝手が良い／立地条件がよく便利です・JR、地下鉄、バスの利用ができる／主に研修室を利用させていただいているが照明、机、椅子の配置等適当だと思います／トイレの設備をよくしてほしい・洋式と数を増やしてほしい／少しずつ内装がきれいになっていますので／悪いところがない／夏は湿度が高い／トイレを洋式にして欲しい／研修室が広い・立地が良い／清潔であること／かべがやぶれています／ロック一助かっています／管楽器のウォーミングアップと歌の練習に利用していますが金管楽器のアンサンブルは不可と言われました・スタジオの防音が気になります・それ以外は満足して使わせていただいている／静かに使える／とても使いやすく充実した時間になりました・集中できたので良かったです

(1)受付での対応(あいさつ、話し方、要望への対応)はいかがでしたか？

①	とても良い	56	55%
②	良い	42	41%
③	あまり良くない	1	1%
④	良くない	0	0%
⑤	未記入	3	3%
	総数	102	



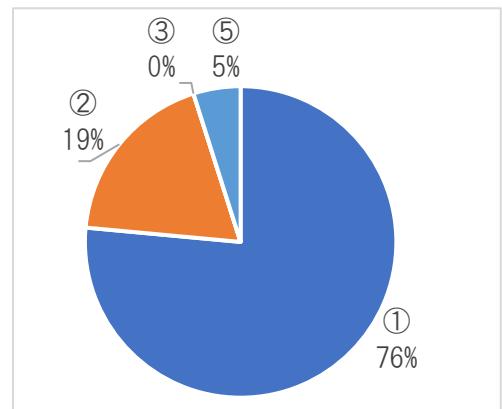
(2)上記質問の回答理由をご記入下さい。(任意記入)

【①とても良い】青少年団体が先行予約されていることを親切に調べて下さり3ヶ月の予約計画ができ感謝しています／めっちゃやさしくて大好きです／いつもていねい・明るく話しかけて下さる／親切です／いつも分かりやすい説明、丁寧な対応していただきありがとうございます／いつも丁寧に対応いただきありがとうございます／急いで対応して頂ける／ていねいで親切／いつも親切に接していただきありがとうございます／受付でていねいに対応していただいて助かっています／気持ちよいあいさつを頂ける／親切／良くなっていてうれしいです／いつも親切に対応してくださいます／対応がていねい／名前まで覚えて覚えて下さるのは素晴らしいことです

【②良い】人による／すぐご回答いただいている／穏やかな対応でとても気持ちが良いです／安価な利用料ありがとうございました／スタッフの方で名前を覚えていて下さる方がいてうれしいです

(1)育成センター全体の満足度を教えてください。

①	満足	78	76%
②	やや満足	19	19%
③	やや不満足	0	0%
④	不満足	0	0%
⑤	未記入	5	5%
	総数	102	



(2)育成センターに対する要望やお気づきの点があればご記入下さい。(任意記入)

【①満足】いつも気持良く使わせていただきありがとうございます／椅子のほこりび／いつもありがとうございます／利便性が高く、ていねいな対応で利用しやすく感謝しております／パントリーでガスコンロかIHヒーターの購入を希望します／消毒液はあった方がいいかと思いました・アルコール無しの消毒液とてもありがたかったです／トイレをウォシュレットにして欲しい！／いつまでもあってほしい組織です／ネットで予約とかできると良いです／何時もあります／今後ともどうぞよろしくお願い致します・トイレが洋式になるとたすかります／いつもありがとうございます・これからもよろしくお願いします／主にスタジオを利用させてもらっています・マイクがネジがたまにゆるんでいたりします・気にかけていただけるうれしいです／ミーティングルームのようなサイズの部屋がもうひとつあれば良いと思います・もう少し予約がとれやすいと良いと思います／港南区、南区、戸塚区、横須賀など私設のスタジオ含めずい分使用させて頂きましたが、使い勝手、金額、スタッフの方の対応全てに満足しています・いつも感謝しています！／予約について、ネットから出来れば尚幸いです(AM9:00～)／長年にわたりお世話になりありがとうございます・これからも宜しくお願いします／いつも有難うございます／

【②やや満足】ピアノがほしい／(4)で記しましたが、飲食ができるようになると良いと思います・予約の決定が早く決まる、年間の活動がしやすくなると思います・使用できない時に他の施設を確保が難しくなってしまうので／洋式トイレを増やしてほしい／毎年の申請やカード受けとりに来館のみではなく郵送も利用できるとありがたいです／

【④未記入】優先団体が入り。日程の変更をせざるを得なくなり困っていました・全県から来る方やそれぞれの団体の年間計画が決まっているので変更があると大変です

体系	項目	自己評価
A 青 少 年 活 動 を 支 援 す る 事 業	あ 施 設 の 貸 与	<p>新型コロナの終息から一年が経った今年度は、施設利用の稼働率も緩やかながら、前年度を上回る実績となりました。利用状況は昨年度から青少年に関わるNPO法人や市民団体を中心に利用案内を行ない利用の底上げに取組んできた効果が表れたのか、青少年、育成者指導者、一般は共に利用が伸びています。ただし、利用人数は前年を下回ったことから、団体規模の縮小といった変化が感じられます。</p> <p>利便性向上の取組みでは、昨年度までのオンライン機材貸出・サポート、キャッシュレス決済システムに加え、更なる利便性向上として今年度からLine公式アカウントによる情報発信と予約、そしてGoogleフォームによる利用申請手続きの導入・運用を行ない、活動支援の場としての諸室提供の充実を図りました。</p>
	相談・コーディネート	<p>相談・コーディネートでは、例年と同じように活動者・団体から事業企画や実施、講師・会場に関する相談が114件寄せられました。昨年度まで増加傾向にあった個人（青少年或いは保護者）からの相談はやや落ち着いてきており、横浜市の青少年相談窓口の充実による効果が表れているのではないかと分析しています。引き続き、幅広い相談に対応できるよう職員の相談対応スキル向上に努めています。</p>
	え 相 談 ・ 助 言 情報の提供	<p>情報発信では、HPやSNSを活用して施設情報や事業案内の投稿をした他、青少年課題や他団体の活動に関する情報も取り上げて発信していることが評価につながっており、フォロワー数やリアクション数も伸びています。</p> <p>ユースライブラリー運営では、今年度も「子ども・青少年に関わる活動実践者的大交流会」に参加した団体資料を配架したほか、研修事業等を通じた蔵書購入を行なうなど情報充実を図りました。引き続き、蔵書の有効活用につなげられるよう努めます。</p> <p>また、青少年課題や育成団体の活動紹介を行なうパネル展は地下2階廊下と交流スペースを活用して開催するなど、様々な形での情報提供に努めました。</p>
	お 調 査 ・ 調査・資料収集	<p>地域活動や青少年活動のリサーチでは、今年度も青少年に関する新しい取り組みや見本となる活動に焦点をあて、情報収集とSNSによる発信を行ないました。</p> <p>また、情報収集では、大学生取材ボランティアによる地域活動や青少年活動の取材を年間9件行ないました。また、取材した記事はSNS（note）で発信したほか、1月には若者の声を発信する活動報告会で取組みなどを発表する機会を設けました。</p> <p>また、青少年活動を実践する団体との意見交換会は、事業協力団体等5団体と行ないました。施設利用に関するニーズだけでなく団体活動の現状把握にも努め、事業や活動支援に関して多くの意見・要望をいただきました。引き続き、団体とコミュニケーションを図りながら、今後の運営や事業につなげたいと考えています。</p>

体系	項目	自己評価
B 青少年を支える人材を育成する事業 い 講座・セミナー・育成	青少年に関する人材育成する研修・講座	<p>青少年理解の基礎研修では「子どもの権利」「発達障がい」「ヤングケアラー」「依存症」「子どもの虐待被害」など、社会問題となっている幅広いテーマを取り上げました。研修は講師や内容に応じ、対面、オンライン、ハイブリッドの多様な形式で実施しました。講座によって参加の多寡がありましたが、全体的に参加が伸びなかつたことから、時期・形式・広報などを再度検討していきます。</p> <p>専門研修は「性教育を学ぶ」「電話で子ども若者の声をうけとめる研修」というテーマで実施しました。「性教育を学ぶ」では今年度も支援者が青少年と性に関して話ができることを目指し実施しました。アンケートからは「(青少年との対応に関して)ヒントを得て道筋が見えた」「問題解決の手掛けりになった」などの感想がありました。</p> <p>また「若者の声をうけとめる研修」では、よこはまチャイルドラインの実践から声や音のみでのコミュニケーションや電話対応をリアルに再現したロールプレイを交えて聞き方や対応を学びました。</p> <p>ユースワーカー養成講座は、今年度から人材育成講座の一つとして実施しました。今年度もユースワーカー協議会の協力をいただき、グループワーク、個人ワークなどの実践を通して、ワーカーとしての自己理解や様々なコミュニケーションスキルを学ぶなど、質の高い講座を提供できました。</p>
	青少年活動や団体活動を支援する講座	<p>スキルアップ講座は「応急手当」「アサーティブコミュニケーション」「傾聴とダイアローグ」という内容で、子どもたちと直接対応する場面で必要となるスキル習得を目的に実施しました。</p> <p>団体運営や課題解決に役立つ講座は、活動に関する会議や青少年とのミーティングに活用できるものや課題を抱えた青少年と向き合う上で必要となる「ファシリテーション」「トラウマを抱えた子どもたちへの対応」「子どもの人権を意識したコミュニケーション」という内容で研修を実施しました。今後も青少年育成に携わる団体や人材の活動に役立てられるよう取り組みます。</p>
	青少年に関する人材のすそ野を広げる取組	<p>次世代人材育成ボランティアや社会教育実習生の受入れでは、次代を担う大学生が実際に子どもの居場所や青少年支援の現場を取材したり、活動に参加することで、青少年育成や社会参加への興味・関心を持つ契機となるよう取組みました。参加した大学生からは「自分の興味関心のベクトルや社会的課題に対する意見が明確になった」との感想があり、若者が青少年や地域への理解と関心を深める機会を提供できていると感じています。</p>
	団体等との協働による人材育成	<p>団体と連携した人材育成では、「横浜市母子寡婦福祉会」「NPO法人子ども支援センター」「よこはまチャイルドライン」の他、青少年向け映像ワークショップを行なっている「キッズディレクター」など12団体と連携し、人材育成の研修等を行なっていませんでした。また、今年度から若手活動者と協働事業として「アプリでつくる目を惹くチラシ」と題し、スマホのアプリを使ったチラシづくりを神奈川大学のボランティア活動団体と共に実施するなど、幅広い人材育成を行なうことができました。</p>
	青少年に関するひと・団体の交流促進	<p>今年度から青少年に関する実践者の交流勉強会として「青少年支援現場の見学交流会」を実施しました。見学交流会では、戸塚区でコミュニティカフェを運営しているお店を会場として、設立の経緯から現在の活動に至るまでを説明いただき、参加者による活発な意見交換なども交えて行ないました。</p> <p>「横浜子ども・青少年に関する活動関係者の大交流会」は、今年度は30団体56人の参加を得て実施しました。充実した交流ができるように時間を確保したことで活発な交流が行なわれました。</p> <p>大交流会は、全体での活動発表、分科会での活動共有だけでなく、新たつながりが生まれる場として重要な取り組みになっています。</p>

2024年度 横浜市青少年育成センター 収支予算書及び報告書

収入の部 (税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	46,790,000		46,790,000	47,390,439	△ 600,439	横浜市より 賃金水準変動影響額(600,439)含む
利用料金収入	2,200,000		2,200,000	1,733,986	466,014	
自主事業(指定管理料充当の自主事業)収入	700,000		700,000	335,200	364,800	事業参加費ほか
自主事業収入	0		0	0	0	
雑入	400,000	0	400,000	438,710	△ 38,710	
印刷代	220,000		220,000	280,990	△ 60,990	印刷機等使用料
自動販売機手数料	70,000		70,000	65,720	4,280	
駐車場利用料収入	0		0	0	0	
その他(ロッカ一貸出)	110,000		110,000	92,000	18,000	
収入合計	50,090,000	0	50,090,000	49,898,335	191,665	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	22,600,000	0	22,600,000	22,879,853	△ 279,853	
給与・賃金	18,000,000		18,000,000	17,750,418	249,582	
社会保険料	3,000,000		3,000,000	2,980,600	19,400	
通勤手当	915,000		915,000	327,000	588,000	
健康診断費	40,000		40,000	32,674	7,326	
勤労者福祉共済掛金	45,000		45,000	24,000	21,000	
退職給付引当金繰入額	600,000		600,000	1,765,161	△ 1,165,161	
事務費	580,000	0	580,000	410,256	169,744	
旅費	30,000		30,000	37,230	△ 7,230	
消耗品費	150,000		150,000	244,180	△ 94,180	事務物品(コピー用紙、文具、プリンタートナーなど)
会議賄い費			0		0	
印刷製本費	100,000		100,000		100,000	施設パンフレット・封筒の作成費
通信費	10,000		10,000		10,000	
使用料及び賃借料	60,000	0	60,000	63,936	△ 3,936	
横浜市への支払分	60,000		60,000	63,936	△ 3,936	貸ロッカー設置に伴う目的外使用料
その他			0		0	
備品購入費	70,000		70,000		70,000	貸出物品購入ほか
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	10,000		10,000	5,500	4,500	
職員等研修費	50,000		50,000	20,000	30,000	事業実施に関する研修
振込手数料	100,000		100,000	39,410	60,590	
リース料	0		0		0	貸出事業にかかる経費として事業費に計上
手数料			0		0	
地域協力費	0		0		0	
事業費	7,432,000	0	7,432,000	6,879,868	552,132	
自主事業(指定管理料充当の自主事業)費	7,432,000		7,432,000	6,879,868	552,132	相談事業、教室(講座)事業、貸室事業にかかる経費 (事業スタッフ賃金、印刷機リース、諸謝金、広報通信費ほか)
自主事業費	0		0		0	
管理費	15,080,000	0	15,080,000	12,438,444	2,641,556	
光熱水費	0	0	0	0	0	施設負担金として、設備保全費に一括計上(関内ホール)
電気料金	0		0		0	
ガス料金	0		0		0	
水道料金	0		0		0	
清掃費			0		0	施設負担金として、設備保全費に一括計上(関内ホール)
修繕費	1,000,000		1,000,000	29,150	970,850	小破修繕対応費
機械警備費			0		0	施設負担金として、設備保全費に一括計上(関内ホール)
設備保全費	14,080,000	0	14,080,000	12,409,294	1,670,706	施設負担金(関内ホール)ほか
空調衛生設備保守	0		0		0	
消防設備保守	0		0		0	
電気設備保守	0		0		0	
害虫駆除清掃保守	0		0		0	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	14,080,000		14,080,000	12,409,294	1,670,706	施設負担金(12,244,000)、廃棄物処理費、管理消耗品費
共益費	0		0		0	
公租公課	1,798,000	0	1,798,000	3,993,200	△ 2,195,200	
事業所税	0		0		0	
消費税	1,793,000		1,793,000	3,993,000	△ 2,200,000	消費税
印紙税	5,000		5,000	200	4,800	
その他()	0		0		0	
事務経費(計算根拠を説明欄に記載)	2,600,000	0	2,600,000	2,054,339	545,661	
本部分	1,600,000		1,600,000	1,547,541	52,459	役員報酬、本部職員負担金
当該施設分	1,000,000		1,000,000	506,798	493,202	会計システム保守、動産保険負担金、税理士・社労士顧問料
ニーズ対応費			0		0	
支出合計	50,090,000	0	50,090,000	48,655,960	1,434,040	
差引	0	0	0	1,242,375	△ 1,242,375	
自主事業費収入			0			
自主事業費支出			0			
自主事業収支	0		0			
管理許可・目的外使用許可収入	0		65,720			
管理許可・目的外使用許可支出	0		63,936			
管理許可・目的外使用許可収支	0		1,784			